

戦争と若者、後世にどう伝える

2014年8月15日
NHKテレビ他

2014年は敗戦後69年です。
戦争体験者が少なくなり戦争そのものが風化してきました。
太平洋戦争で日本が戦った相手が米国であることや、広島・長崎に原爆を投下したのが米国だと知らない若者がいます。

現在、日本は平和なのでデイズニーランドで遊んだり、広島にお好み焼きを食べに行ったり、長崎のハウステンボスに遊びに行ったりできます。すべて平和だから出来ることを再認識しましょう。

戦争の時代

戦争体験者・年配者

歴史の学ぶ

平和な時代

若者

- 19世紀後半～欧米列強によるアジア・アフリカの侵略、植民地化が始まる
- 鎖国下、徳川時代(平和な265年間)が崩壊、開国、1868年、明治維新後、明治政府が成立、国際社会にデビュー、独立国家を貫く
- 民主化、富国強兵に向け欧米の諸制度を積極的に導入
1889(明治22)年、大日本帝国憲法発布、主権は天皇
1890(明治23)年、帝国議会の開会
- 日清戦争1894(明治27)年に勝利 その引き金は朝鮮半島の内乱、甲午農民戦争 これ以降、軍事国家として欧米列強と同じ道を進む
- 1904-1905年日露戦争に勝利 黄色人種の日本が先進国ロシアに勝利し、国内では急激に重工業が発展 日本巨大化、満州進出を警戒する米国との関係が悪化
- 1910(明治43)年 韓国併合
- 第一次世界大戦(1914年～)の戦勝国として1920年・昭和9年創立、国際連盟の常任理事国となり欧米列強の仲間入りを果たす
- この時代、世界は帝国主義の覇権争いの中にいた 日本も徐々に帝国主義に傾き、軍部が発言力を増す
- 1923年・大正12年、関東大震災
- 1929(昭和4)年、世界恐慌 1930年ロンドン軍縮会議
- 1931年以降、中国に侵略 軍事的には優勢であったが勝てず 米国が中国を応援しているから勝てないと考え 真の敵は米国・・・と思うようになった
- 1931年～1945年まで続いた第二次世界大戦(ドイツ・イタリア・オーストリア対英国・フランス・ロシア・米国) 日本は1941年より参加、米国との国力の差で負けた 1945年8月には世界で初めての原子爆弾が広島と長崎に投下された

占領統治の始まり

- 1945年8月15日、天皇、戦争終結の玉音放送
9月、米艦ミズーリ号で降伏文書に調印
1946年、日本国憲法発布、翌年5月に施行
- 戦後改革、連合国軍司令部(GHQ)は日本の非軍事化と共に民主化のための改革を指示。参政権付与による女性解放、労組結成など労働者の権利保障、治安維持法や特別高等警察の廃止、財閥解体や農地改革など経済の民主化、忠君愛国の道徳を教える「修身」廃止など教育の民主化がすすめられた
- 1948年11月 極東国際軍事裁判おわる
- 1950年6月、朝鮮戦争始まる
東西冷戦(米国など資本主義国とソ連・中国などの共産主義国の争い)が起こり、米国は日本を非軍事化する占領政策を「反共のとりで」とする方向に転換。朝鮮戦争が始まると自衛隊の前身である警察予備隊が設けられた
- 1951年9月、サンフランシスコ講和条約(48か国)に調印し、国際社会に復帰
米国は賠償請求権の放棄を提案し、日本にとって「寛大な講和」となった。同時に日米安全保障条約が締結された

独立回復

- 1954年、自衛隊発足
- 1955年、自由民主党が政権につく、55年体制始まる
- 1956年、経済白書で「もはや戦後ではない」、国連加盟
- 1960-1990年、高度経済成長、国民生活は向上
- 1964年、東京オリンピック開催
- 1965年、米軍 ベトナムへの爆撃開始
- 1968年、GDP世界2位へ 1969年東名高速道路全面開通
- 1972年、沖縄返還、日中共同声明に調印、国交正常化
- 1985年、プラザ合意以降、円高が進む
- 1990年、バブル景気のピーク、米ソ冷戦終結
- 1990～2010年、デフレ経済に入る、国力衰退
- 2011年、東日本大震災
- 2012年、安倍政権、大胆な金融緩和策→円安に動く
- 2013年、2020年東京オリンピック決定